

大磯の災害

地震

いそべえとあおみちゃんは、今から100年ほど前の明治、大正、昭和初期の時代からタイムスリップしてきたアオバトのカップルです。1923年（大正12）9月1日、関東大震災が起きました。2人が経験した関東大震災を中心に、大磯の地震被害についてきいてみましょう。



いそべえ



©2011 ISONOMACHI

あおみ

関東大震災

関東大震災ってどんな地震？



日本はプレートの境目にあるし、活断層も多いから、大きな地震が起こりやすいべえ。大磯も昔から大きな地震で揺れてきたべえ。



大磯で地震というと関東大震災を思い出すわ。本当に大きな地震だった。



関東大震災は、大正関東地震とも言うべえ。1923年（大正12）9月1日午前11時58分、相模湾の北西を震源として、マグニチュード7.9の地震が起こったべえ。当時は今のような震度階級はなかったけど、建物の全壊率から考えると、大磯では震度6強～7の揺れを感じたみたいだべえ。



関東大震災の特徴は、何と言っても東京と横浜で大きな火災が発生したことね。この震災では約10万5千人の人が亡くなったと言われているけど、そのうちの約9万2千人が火災で亡くなったわ。大磯では幸い火事が起こらなかったわね。

その時！の大磯の様子



大磯は地震の当日、午前中にわか雨が降った後は、穏やかな天気だったべえ。でも突然、大きな揺れがあって、家屋が倒壊したべえ。町の人たちは家を離れて安全な場所に避難したべえ。



海の潮が異常に引いたから、津波を心配して高台に避難した人たちもいたわね。

大磯の人と家屋の被害数

	警察署の『震災記録』		『神奈川県震災誌』	
	大磯町	国府村	大磯町	国府村
死亡	37	27	33	25
負傷	74	18	157	27
行方不明	0	1	0	1
全壊	221	440	245	407
半壊	874	144	205	168
破損	-	-	1,199	106
完全	-	-	0	16
全焼	-	-	0	0
半焼	-	-	0	0
全流	-	-	0	0
半流	-	-	0	0

統計によって人数が違うのはなぜかしら？



警察署の統計と県の統計で、数が違うみたいだべえ。